



書あり 師あり 友ありて

ああ、わが大蔵中学校について

学校長 平田 高之

あれだけ美しかった桜の花も散ってしまい、新緑の季節となってきました。生徒たちは、新年度が始まり2週間近くが経過し、新しい大蔵中学校の生活にも馴染んで来ています。全体的にいいスタートが切れたのではないかと考えております。

部活動においても、夏の総合体育大会、コンクール等に向けて、春の大会が行われる等、指導者・生徒ともよく頑張ってくれていますが、環境の変化も含め、少し疲れが出る時期でもあります。各学級で気をつけて生徒の様子は見てまいりますが、ご家庭でもよろしくをお願いします。

さて、本年度から、授業時数の確保のため家庭訪問を希望制にさせて頂きました。学年・学級によって多少の違いはありますが、約3分の1のご家庭にお邪魔させていただくことになりました。しかしながら、何か気になることや相談等がございましたら、この家庭訪問の時期に限らず、いつでも学級担任、学年主任等にご連絡下さい。

さて、今回の学校だよりでは、大蔵中学校の歴史について、紹介させて頂きます。

○設 立：昭和22年4月1日設置（市内で最も古い7校のうちの1校です）

○開校式：昭和22年4月22日

- ・校舎は人丸小学校の一部及び明石市立高等女学校の一部を借用し、開校入学式は人丸小学校講堂で挙行されました。昭和24年に現在の西朝霧丘の地に移転されました。
- ・当時の生徒数は401名（1年6学級・2年2学級・3年1学級）卒業生徒総数は20,337名です。

○校 章：昭和22年、当時の明石中学校の校章が、高校発足とともに消えることを惜しみ、「明中」の校章の中央に、「大」の字を王冠のように図案化して重ね完成しました。中学校の「中」となっています。中央はペンになっていて、「学問」から「学校」へつながり、ペン先中央から縦線で割ると、明石の市章のように、明石の「明」となります。

○校 歌：昭和26年、大阪音楽大学森本教授に、直接、学校の環境や風景を見て、建学の理想も聞いて頂いたうえで作詞をお願いしました。その歌詞に、同小橋教授に作曲して頂き、昭和27年1月20日文化祭において披露されました。

※ちなみに先日の「チョコちゃんに叱られる！」で、「学校に校歌があるのはなぜ？」というテーマがありました！チョコちゃんの答えは紙面の都合上いざれまた…

以下に、2019年度、本校の「教育目標」「めざす学校像・生徒像・教師像」「重点と主な取り組み」を紹介いたします。昭和22年から脈々と続く歴史と伝統、近藤前校長が4年間進められた学校経営の継続性を大切にしながら、さらなる飛躍を遂げる学校にしていきたいと思います。

明石市立大蔵中学校

大蔵中学校区の目指す子ども像(平成30年度大蔵中学校区小中一貫教育推進計画)
 学び：自ら進んで友だちと意見交換し合い、共に高め合える子ども
 育ち：積極的に友だちとかわり、共に伸びようとする子ども

2019年(令和元年)度 大蔵中学校教育目標
 …生徒一人一人が知性・道徳心・体力を身につけ、人間性豊かな大蔵中学校の生徒として成長することを願い…
 「自ら学びつづけ たくましく生き抜く 心豊かで、健やかな生徒を育てる」

